

9月

『本ってだいたいこうなってますよね?』西岡裕二/技術評論社/022 ニ

本のつくりはどうなっている? 本好き・読書家のデザイナーが、本のサイズと綴じ方、紙面の要素と文字組み、印刷と網点、紙の種類・厚み・取り都合などについて、イラストとともに解説する。用語集、索引付き。

「取り都合が良い」とは1枚の大きな紙から仕上がりサイズの紙をいかに無駄なく取れたかという状態。図解で丁寧に説明されています。

Pick Up!



『スマホを見てただけなのに!』鈴木雄也/KADOKAWA/007.3 ス 青少年

「10 分のつもりが 1 時間過ぎてしまった」「匿名で書いたことがバレた」…。スマホを見てたらひどい目に! 学校でも、塾でも教えてくれない、スマホやネットのスマートな使いこなし方を紹介する。

- 『天海』水上文義/春秋社/188.4 ミ

信長の比叡山焼き討ちからの復興、家康の神格化(東照大権現)、世界初の一切経の刊行、寛永寺の建立など多彩な活躍で知られる天台宗僧侶・天海。徳川幕府に仕えた「黒衣の宰相」の実像に迫る。

『思考をみがく禅入門』山田史生/筑摩書房/188.8 ヤ

禅問答は、ことばを使っておこなう、地に足のついた禅僧同士の、ガチな対話の記録。唐代の名僧・趙州の語録「趙州録」の開巻劈頭におかれている、趙州とその師・南泉普願とのあいだでかわされた 11 の禅問答を解説する。

『吉備の古代史』今津勝紀/吉川弘文館/217.5 イ

強大な政治圏が形成され、畿内と並ぶ巨大古墳が造られた吉備。神話や地名、出土遺物、出雲やヤマト王家との関係、人口動態など、さまざまな視点で実像を検証。朝鮮半島を含む東アジア情勢の中に古代吉備を位置づける。

『日本で一番すてきな星空ガイド』縣秀彦/エクスナレッジ/291 ア

肉眼で天の川を見ることができ、実際に家族や女性一人でも訪れることができる。そんな素晴らしい星空が見られる場所を、全国の公開天文台の声を元に出し、美しい写真とともに紹介。星空の見方や星図つき。
- 『SHIGA フィフティ・フィフティ 2026』ウエスト/パレード/335.2 ヱ

滋賀で 2026 年に 50 周年を迎える企業・団体 11 社の歩みと、これからの 50 年を描く一冊。各社の取材から見てきた共通点を分析し、日本社会の半世紀を振り返る。周年事業が企業にもたらす価値を探る対談も収録。

『推したちとどう生きるか』三宅香帆/新潮社/361.5 ミ

日本人にとって推し活は社会に広く浸透した一つの文化。ではそんな推しと、どのように持続可能な関係性を築いていけるのか。文化の源流から令和の最前線までをひもとき、「推しの構造」を読み解く。『波』連載を加筆修正。

『神輿と祭の民俗学』森田玲/平凡社/386.1 ヲ

カミの乗物として神事の核心を担う神輿は、なぜ今のように祭の象徴となったのか。祭の基本構造から神輿の歴史文化の変遷まで、民俗学的な視点から神輿の全貌を明らかにする。

『かこさとしの科学絵本』かこさとし[編著]/主婦の友社/407 カ

数多くの名作絵本で知られるかこさとしは、化学企業に勤める工学博士でもあった。かこによる科学絵本についてのエッセイやあとがき集を絵やイラストとともに紹介。国立科学博物館の自然史研究者 7 名の「かこ作品」解説も掲載。
- 『もしも、しっぽが生えたなら』東島沙弥佳/岩波書店/481.1 ヲ 青少年

多くの脊椎動物にあって人間にはない、しっぽ。動物はどんなしっぽの使い方をしているのか? ヒトはなぜしっぽを失くしたのか? もしも、しっぽが生えたしたら? 不思議な物語とわかりやすい解説でしっぽのひみつに迫る。

『おいでよ!コアラ沼への招待状』早川卓志[監修]/世界文化社/489.3 ハ

コアラには、知れば知るほど面白く、不思議で愛おしい秘密がいっぱい。その生態と謎に迫り、飼育している 7 つの動物園を紹介。コアラと向き合うプロフェッショナルたちの姿や、オーストラリアでのフィールドワークも掲載する。

『薬膳生活を楽しむ教科書』阪口珠未/ナツメ社/498.5 ヲ

薬膳のもととなる中医学の基本的な考え方から、「体質」「季節」「悩み」に合わせた食養生のポイントをイラストとともに解説。手軽に作れる薬膳レシピ、身近な食材の効能がわかる食材ミニ事典、ハンドセラピーも収録。

『野菜刺繍の愉しみ』幸池典子/日本ヴォーグ社/594.2 ヲ

ほうれん草、ベビーリーフ、エノキタケ、ゴーヤ、キャベツ…。身近な野菜を題材にした刺繍をインスタグラムで発表する著者が、各野菜の刺し方のポイントやパネルの仕立て方を、プロセス写真で詳しく解説する。
- 『模様替えアイデア帖』トム子/エクスナレッジ/597 ト

完璧じゃなくていい、誰かに見せるためじゃなくていい! 部屋も暮らしも人生もごきげんになる模様替えのアイデア帖。家具配置、カラーコーデ、ディスプレイ、DIY、収納法などやってみたくなるアイデアをイラストで紹介。

『農業の疑問 50』日本農業学会[編]/成山堂書店/615.8 ニ

農業と肥料の違いは何? 農業をブレンドしてもいい? ポストハーベスト農業とは? 農業の定義・種類・法律などの基本から、使い方・安全・環境への影響に至るまでを、Q&A 形式でわかりやすく解説する。

『農家が教えるサンショウづくし』農文協[編]/農山漁村文化協会/617.6 ヲ

実山椒のしびれと香りを 1 年中楽しむための保存方法から、サンショウを使ったさまざまなアレンジレシピ、サンショウを苗木から育てるさいの気になるポイント、実を売る場合のコツまでを紹介する。『現代農業』等掲載を再編集。

『うつくしい!』谷川俊太郎/偕成社/726.6 タ 青少年

なぜにんげんは、なにかをうつくしいとおもうんだろう? 中学の美術教科書にも掲載されている谷川俊太郎の名文と川島小鳥のみずみずしい写真による、<美しさ>を考える写真絵本。
- 『書の楽しみ』島谷弘幸/毎日新聞出版/728.2 シ

書の鑑賞は、まずは見るのが楽しみの第一歩になる。御物をはじめ、正倉院や宮内庁書陵部に伝えられた作品、皇居三の丸尚蔵館の収蔵品など、皇室ゆかりの作品に絞って書の魅力を伝える。『毎日新聞』日曜版連載を書籍化。

『静かな夜はあの歌と』藤原正彦/PHP 研究所/767 シ 文庫

「夏の思い出」「雨のブルース」「花」「なごり雪」…。あの名曲は、なぜ日本人の心に響くのか。歌謡曲を愛する数学者が、明治～昭和期の歌謡曲や詩歌を厳選し、その詩やメロディに対する思い出と、これからの行く末を綴る。

『短歌ご一緒しませんか』岡村靖幸/筑摩書房/911.1 ヲ

音楽界の異端児・岡村靖幸×現代短歌のトップランナー・俵万智による、「読んで詠える」短歌教室。自分のハートを短歌で仕上げるテクニックを伝授する。岡村靖幸ファンクラブサイト『DATE』連載を書籍化。

『せやかて、あの街は』三オブックス/914.68 シ

大阪、京都、兵庫の街をテーマにした、40 人の書き手によるアンソロジー形式のエッセイ集。円城塔「たかじんがな」をはじめ、木村衣有子「喫茶ソワレ」、松永 K 三蔵「走る私はあの街」などを収録する。
- 『失恋カルタ』又吉直樹/Gakken/917 マ

「あ」雨が降っていても楽しかった頃が懐かしい、「せ」成長したんじゃないくて、あきらめただけ…。お笑い芸人で作家の又吉直樹と、イラストレーター・たなかみさきによる、失恋の孤独とかなしみを癒すやさしい処方箋。

『私は物語の語り手である』柊フリート・プロイラー/鷗出版/940.2 ヲ

「大どろぼうホツェンプロッツ」などで知られるドイツの児童文学作家オトフリート・プロイラーが、生涯や創作活動とその背景・影響等について述懐する。ファンタジーを通じて希望や夢、想像力、人間性を育むことの大切さを説く。

『はじまりのスープ、夏ゼリー』瀬尾まいこ/新潮社/F セ

中森リリーは飲食店でバイトをして暮らしている 26 歳。ある日、料理コンテストで出会った男にスープを作ったところ、突然泣かれてしまって…。誰かとごはんを食べたくなる、やさしさに満ちた物語。

『グレンデル寄宿学校のふたり』峰守ひろかず/ポプラ社/F ミ

19 世紀ロンドンの寄宿学校。名門貴族の子息ノエルは寮長に金をせびられていたところを、中途入学生サモンに助けられる。だが寮長の不興を買ってしまい、校内を騒がせている“悪魔の足跡”の正体を確かめてこいと言われ…。

